

日本会議のメール情報が次々と入ってきています。この度はまた、憲法の改正に伴う国民投票法の一部である、「国民投票に関する広告宣伝規制」についてです。今憲法審議会がやろうとしていることは、憲法の条文をどうこうしようというのではなく、改正案を作る前に、国民投票のやり方として投票所の設置や国民に投票に参加してもらうための改正の要点など、国民向けに宣伝するためのものです。野党はその規制に関して、公平性を担保するために日本民間放送連盟の幹部に対し、CM規制の法制化をする為の意見聴取を行うことから初めるようというわけです。昨年5月、自民党の安倍総裁が自党で憲法改正4項目の私案を示し、この線で検討するように指示を出されてから丸1年2か月、4条項の自民党案は出来ているようですが、野党側は、条項に関する検討には一切踏みこまず、投票場所をどこに置くかとか、投票に関する詳細周知の方法をとりあげ、国民投票を阻止するため、あらゆる妨害を続けています。

今、日本国は、日本という国を護り、そこに住む国民の安全を図るため、70年も前に占領軍によって作られた歪な日本国にまったく不似合いな現憲法を直そうとしています。自民・公明・維新の会の国会議員総数は憲法改正発議に必要な国会議員の2/3以上に達しその上国民の方でも改憲勢力が日に日に増え続けています。日本会議の方々のご努力が着々とすすんでいることを、ブラジルよりいつも頼もしく感じております。今一段とその努力を深化させてもらいと思います。

日本会議メール情報をまず読んで下さい。

「日本会議メール情報」 平成 30 年 7 月 12 日 (木)通巻 第 1699 号

[憲法]衆院審査会、非公開で民放連から意見聴取

日本会議事務総局 担当 村主真人

衆議院憲法審査会は12日、非公開の幹事懇談会の場で、CM規制のあり方について日本民間放送連盟の幹部から意見聴取を行いました。

自民、公明両党が求めていた国民投票法改正案の実質審議については審査会を開かず見送りました。CM規制については、平成26年の国民投票法改正の際の附帯決議にも公平性の担保を検討していくことが決議に盛り込まれていました。野党側はこれを根拠にCM規制の法制化を求めています。

今回の民放連からの意見聴取は、非公開で行われましたが、出席した議員によると、民放連側はCM規制の法制化については慎重な意見を述べ、ガイドラインにより自主規制を設けることのは是非について、今秋に向けて検討していると語ったと言います。

国民投票に際して法律でCM規制を求める野党の動きに対して、自民党は、平成26年の国民投票法改正当時、「報道の自由」の観点から、NHKや民放連が自主的なガイドラインを作成することが望ましいというのが各党の了解事項だったとしており、現在でもCM規制の法制化に慎重な立場をとっています。

参考 日本国憲法の改正手続に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議十九、テレビ・ラジオの有料広告については、公平性を確保するためのメディア関係者の自主的な努力を尊重しつつ、憲法改正案に対する賛成・反対の意見が公平に扱われるよう、その方策の検討を速やかに行うこと。(参議院憲法審査会・平成26年6月11日)

現在の野党の立場は、まったく脆弱になっている。衆議院選挙の毎に野党は、弱体化し、分裂し、議員数を減らしている。自民党は、野に下りた3年間の間に政策を練り直し

戦略をたてたと言われる。いくつもの小党に分裂した野党は、政権の座を去ってから5年が経つというのに、政策も戦略も持たぬために、自民一党にも太刀打ちできないでいる。政略のみ先行し、多党間で常に意見が纏まらず、一向に政策らしい政策も生まれてこない。在るのはテロまがいの国会対策とストまがいの休暇作戦くらいしかない。したがって、やることは、子供じみたまったく幼稚な嫌がらせにしか過ぎない時間燃焼に力を注いでいる。これでは、国民の支持を得られるわけではなく、ジリ貧になるのは間違いない。

野党6党の合計支持率が一時20%近くになっていたと今日のyoutubeニュースで聞いたが、テレビや大新聞のフェイク・ニュースによる応援を受けても 国民の支持はだんだんと落ち、今では10%に限りなく近づいているという。

これに対して自民党は、もっと力をあわせ、選挙で得た強い支持基盤をもっと活用すべきと考える。新聞テレビも、日本の放送法に従って、議員のテレビ出演回数を、野党並みに増やすことだ。当然の権利なのに、なぜ野党党首が煩雑に、それも二言目には「国民が納得しない」とやるのか。余りにも不公平、隔たっている。まともな日本人ならば、とても発言しえないような言葉をつかい、日本を愛しているとはとても思えないことを延々と喋らせるのは、どうしてだろう。彼らには現在の日本国の憲法もその他の法律も一切通用しないのか。

ブラジルの国会でも国会議員同士が肉弾戦を演じることがある。ブラジルだから許されるということではないが、日本は世界を驚かすマナーの国であり、「おもてなしの心」の大切さを知っている。政治の世界でも、日本が世界の模範国となり、日本の政治家が世界各国で起こる紛争国に派遣され、どうしたら話し合いが出来るか教えて上げれないものか。そんな時代がきっと来ることを信じたい。

日本独自の「うるわしい憲法」が今の時代の日本人の手で仕上げられることを心より念じている。

徳力啓三

~~~~~  
「美しい日本の憲法をつくる国民の会」も協力している、改憲チャンネル制作委員会からのお知らせです。毎週、週のはじめに新しい動画をアップしています。ご視聴、ご活用をよろしく願いいたします。  
★おすすめ動画★ ▼「織田邦男氏に聞く憲法改正と自衛隊～ノーカット版」<https://youtu.be/04nQa-Oqiec>  
▼改憲キャッチ動画「YES！憲法改正～高須クリニック院長」<https://youtu.be/pVTxVEhV9u4>  
▼これまで公開の全動画は、<https://www.youtube.com/channel/UCRpEQ11uCPjz2Nk15oKO6tA/videos>  
★ぜひ Youtube のチャンネル「登録」を！ <https://www.youtube.com/channel/UCRpEQ11uCPjz2Nk15oKO6tA>  
★Facebook の「フォロー」「いいね」で情報拡散をご協力ください <https://www.facebook.com/kaikenCH/>  
~~~~~

このメール情報は、著作権により保護されています。許可なく複製、公衆配信することはお断りいたします。

~~~~~  
日本再建のためには、皆さんの御支援・御協力が必要です。誇りある国づくりのための10万人ネットワーク「日本会議」に是非ご入会ください。年額3800円から各種コースがございます <https://www.nipponkaigi.org/member>  
~~~~~